

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	にじっこらんど宮の沢		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 13日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本1対1で個別活動を展開しており、提示課題についてもそのお子様に合わせて展開していけること	お子様の発達状況や情緒面等で職員1人に付き、子どもが2人という形になる時もありますが、基本1対1になるように配置しています。また、提示課題も固定化しないよう常に気を付けながら、設定しています。	職員間での個別活動内の様子の共有をさらに徹底していき、お子様の『困り感』が少しでも減るように行っています。
2	個別活動のみならず、小集団での活動を毎回行っていること	最大7名ぐらいの小集団で運動や製作など様々なプログラムを展開しています。また、運動などでは、年齢や発達状況に合わせて段階を変えたりしています。その中でお友達と協力したり、話し合ったりなどコミュニケーションをとる場面を意図的に設けています。	近場の公園だけではなく、遠くの公園などにも出かけることが出来る日を増やしていこうと考えております。
3	元々保育園が母体となっている会社であるため、利用者の情報共有が円滑に行いやすい。	お子様については、気になる部分や困り感が見られた時はすぐに連絡を取って、状況把握を行っています。また、定期的に系列外の保育園や幼稚園とも連絡を取り、情報共有を行っています。	系列外の保育園と幼稚園との情報共有はできていますが、系列の所よりも頻度が少ないため、連絡を取る回数を増やすことが出来るようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育提供時間が短めであること	午前・午後と2部制であるため、療育時間が基本1時間20分から30分程度になります。そのため、長く療育を受けたいと考えている方にとっては、少なく感じてしまうと思っております。	短い時間の中でもしっかりとした療育を提供できるように、プログラムを考えていく必要があると考えています。また、指導員のスキルアップもさらに行っていき、色々な面から支援が出来るようにしていきます。
2	床がクッションフロアであるが、床暖房の設備はないこと	転倒リスク防止のために靴下を脱いで療育を過ごしています。そのため、冬の寒い時期になると床から身体を冷やしてしまうリスクが出てきてしまっています。	現在も朝早くから暖房を付けたり、設定温度を高める等をして部屋を暖かく保つ事ができるようにしています。また、自動ドアの隙間を無くしたり、パネルボードを大きな窓側に設置する等をして、冷気を出来るだけ遮断しています。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 にじっこらんど宮の沢

公表日 令和 8年 2月 27日

利用児童数 29名 回収数 23名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20			3		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1		3	拝見させて頂いた部屋は特に問題なさそうですが、全てではないので不明	活動するお部屋は、全てご案内させていただいています。しかし、全ての部屋ではないのが現状です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1		1	保育園では、出来ていないと言われていることがあり、どう受け止めていいのかわからない	保育園と事業所では、環境や職員の数等の条件が異なるため『出来ていない』という部分が出てきていると思います。少しずつ保育園生活で困り感が出ないように支援を展開させていただきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1			何をどう連携してくれているのか見えない	お迎えの送迎時や定期的に電話にて保育園等と情報共有をさせていただいております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				2	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	13				10	無くても問題ない/交流や活動しているかわかりません(特段、積極的にもめていません)/他の施設との交流があることなどは伺っていません
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	1	6	行われているかもしれませんが、参加したことがない	情報提供はご希望があればさせていただいております。しかし、研修会は開催できておりません。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22				1	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていると思いますか。	7	1	5	10	交流を行っているかわかりません/父母の活動があると逆に負担になると思う。困っている時は職員に相談できるのでそれで十分。	こちらも交流等は行っていません。ご要望がありましたら、開催を検討させていただきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1		2	活動内容をLINEで写真付きで連絡いただける時があり、様子が分かって良い。まだ、上手く言葉で表現出来なくとも写真を見ながらコミュニケーションを図ることが出来る。	今後も続けさせていただきます。また、定期的にHPでも様子を掲載させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	1			子どもも楽しんでいるし、寄り添って支援してくれている	今後も安心感をもって、通所していただけるように努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22		1		上記同様/来所日は、「今日にじっこさんお休み中？」と聞いてきて、楽しみにしています。	今後も色々な活動を設定していき、楽しんで過ごせるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1			上記同様	ありがとうございます。今後もご満足することが出来るように努めていきます。

事業所名 にじっこらんど宮の沢

公表日

令和 8年 2月 27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動に合わせて、療育スペースを変更したりして支援を展開しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基本指導員と子どもが1対1になるように配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		視覚的にもプログラムなどを提示したりしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		日々、清掃作業を行って清潔であるように保っています。また、家具などでの怪我の恐れがないよう対策しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		子ども様子に合わせて別室でも過ごすことが出来るようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎月会議などで行っており、参加することが出来なかった職員のために書面でも残しています。	業務時間内で会議を行っているためパート職員全員が参加することが難しいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		昨年度行った評価を踏まえて改善できる部分は、積極的に行っております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎月会議以外でも把握する機会を設けております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		まだ、第三者による外部評価を受ける機会が設けられておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修については都度声掛けをし、参加の機会を提供しています。また、2026年1月から研修用のアプリを導入いたしました。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		現在、ホームページにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		定期的に面談を行い、ニーズや課題を分析しながら作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的にモニタリング会議を行い、検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		その日、担当するお子様の支援計画を必ず見るようにしております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			標準化されたツールを用いてアセスメントは、行っておりません。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		常にガイドラインを確認しながら支援内容を設定しております。	

坂 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	個別のプログラムは担当職員、集団のプログラムはリーダーを担当する職員間で行っております。	個別のプログラムに関しては、個々の職員間で行う事が多いです。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	前回のプログラムを常に確認しながら、固定化しないよう日々変えて行っております。また、定期的に製作等も行っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	支援計画はもちろんのこと、その日の様子によって適宜支援の展開を変えています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	必要に応じて打ち合わせを行っております。特に利用児の状況に合わせて行動することができるよう確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	それぞれに必要な振り返りを行っています。また、状況に合わせて全体共有も行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	その日の内に記録を取るように徹底しております。また、月末事に必ず記録があるか確認しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的に見直しを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	基本児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	該当する関係機関とはしっかりと体制を整えております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	定期的に支援内容だけでなく、こども特性や状況などの情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		まだ、そのような機会がありません。しかし、すぐに情報共有が出来るように体制は整えております。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		今後、必要に応じて機会を設けることが出来るようにしていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		遠くの公園などに遊びに行った際などで交流する機会はありませんが、意図的に設けてはいません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日々連絡帳やLINEなどで情報を共有しております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	必要に応じて個々に情報提供をしています。	研修は設けられておりません。希望する方などがいれば、機会を設定出来るようにしていきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	最初の契約時に説明させていただいております。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		必ず面談を行い、機会を設けさせていただいております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		必ず面談を行い、機会を設けさせていただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		相談事があった際は、すぐに対応させていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			ご希望がありましたら、機会を設けられるようにしていきたいと考えております。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		契約時に必ず周知させていただいております。また、常に対応できるようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		現在、ホームページを開設しています。そこで、定期的にブログを更新しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		しっかりと保管・留意させていただいております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		視覚的にもわかるように情報伝達させていただいております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			今年度は、行う事ができていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		マニュアルに関しては、策定し周知させていただいております。また、訓練も行っております。	パート職員などがどこまで把握できているか確認できていないため、今後細かく行っていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		策定し、年2回程度は行っております。	行ってはいますが、保護者には周知しきれないと感じています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		常に書面でも確認しております。また、保護者の方からいただいた情報をすぐに職員間で共有し、すぐ見返せる場所に保管しております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		まだ、指示書までが必要な方の利用がありません。しかし、事業所側で用意したフェイスシートで常に確認しております。	常に事業所で作成した書面ではアレルギーの有無を確認しております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画については、毎年作成し、訓練等を行っております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		周知させていただいております。	周知しきれないご家族もいらっしゃいます。そのため、今後も引き続き周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットがあった際は、すぐに検討しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		年に一回以上は研修する機会を設けております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		契約時に必ず周知させていただいております。	やむを得ず身体拘束を行わないといけない方がまだ利用されていないため、記載しているものがありません。	